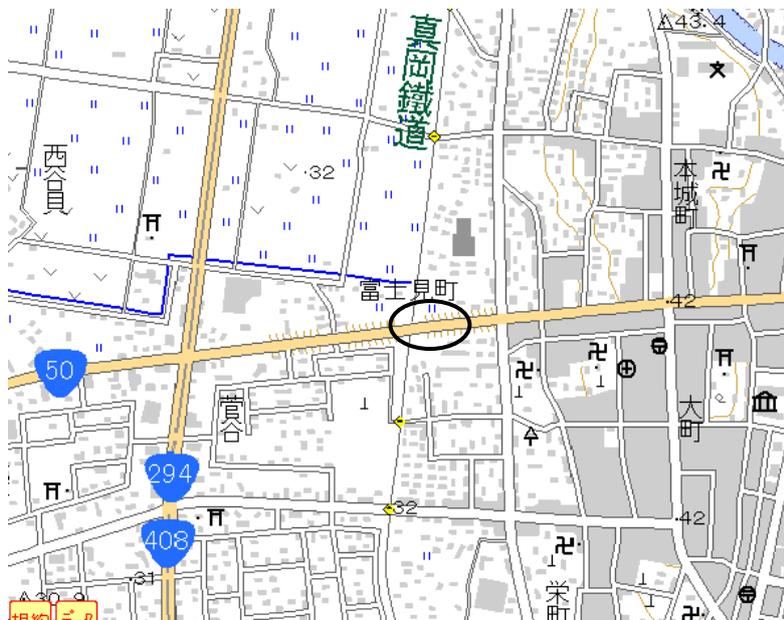
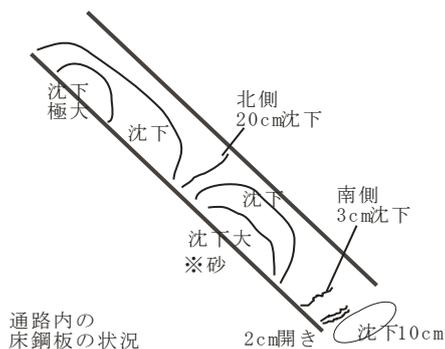
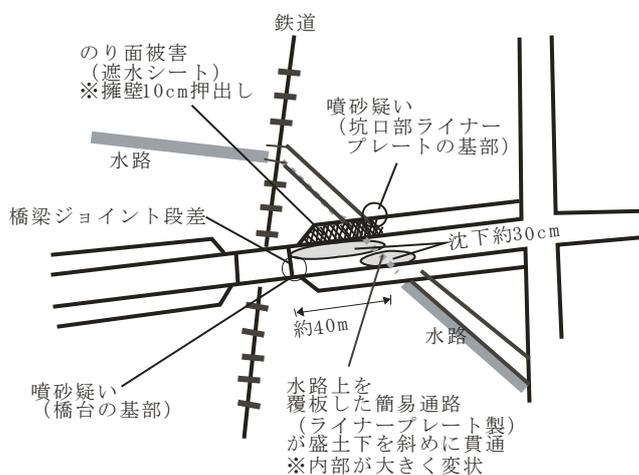


現場： 国道50号 新富士見跨線橋付近@ 茨城県 筑西市 富士見町

概要： 跨線橋の東側橋台のさらに東に道路方向と斜交する貫通トンネル（円形断面のライナープレートを使用した簡素なもの）があり、これが地震動により楕円形に変形（内部は大きく沈下）。トンネルの変形と上部道路の変形は調和的である。道路の沈下とのり面および下部土留め擁壁の変状、橋台ジョイント部の段差がそれぞれ発生した。トンネルは通路として利用されているが側溝？（あるいは床鋼板の下）により水路が並行している。北側坑口のライナープレート基部および橋台の基部にそれぞれ噴砂を疑わせる痕跡あり。トンネル下部地盤あるいは周辺が液状化した可能性。



(提供：国土地理院)





西から全景



路面の状況



噴砂を疑われる痕跡（北側坑口基部）



北側から内部を覗く（円形断面が右上—左下方向に圧縮、右下が沈下）

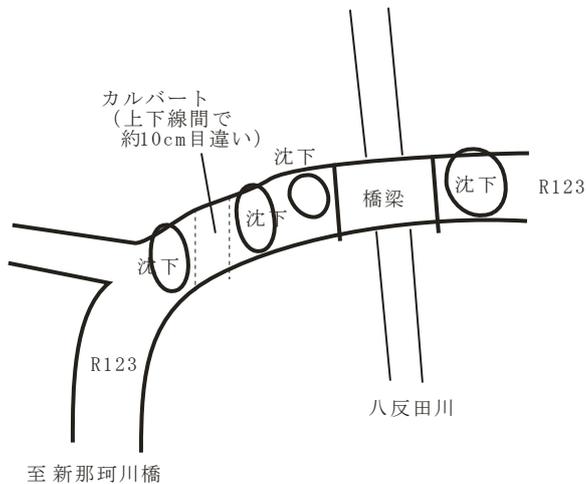
現場： 国道123号 新那珂川橋 西（南）詰@ 栃木県 茂木町

概要： 那珂川を越える橋梁の南側の橋台ジョイント部で段差。橋台のウィング部擁壁で30cm程度の前傾と沈下あり。



現場： 国道 123 号 八反田川橋梁 @ 栃木県 茂木町

概要： 新那珂川橋の北（東）詰に近い支流の八反田川にかかる橋梁前後の道路面の沈下と亀裂。カルバート前後と橋梁部前後でそれぞれ 30cm～50cm 程度の沈下あり。



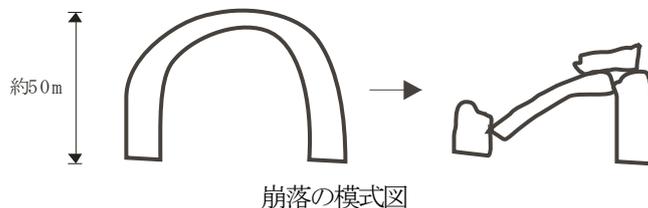
現場： 県道27号 @ 栃木県 茂木町

概要： 山腹道路の切り盛り境？で谷側が沈下。20cm程度か。



現場： 砕石場内の岩盤崩落 @ 栃木県 宇都宮市

概要： 大谷石の旧採石場を保存した大谷資料館（野外）の敷地内のアーチ状の薄い岩盤（その下部が採掘された痕跡）が崩壊した¹。見学者が立ち入るエリアからは遠く離れているので安全性の問題はない。資料館敷地内であるため撮影不可（以下はイラスト）。写真画像は近くの別所での小規模な崩落。また、進入道路脇で崩壊あり。



上記現場とは別の小規模崩落箇所（見学順路ではないので危険性はない）



資料館近くの道路脇の崩壊箇所

以上

¹ 訪問時に資料館の管理者の方とばったりお会いして、そのご好意により、閉館して本来は入れない場所から、高みにある崩壊箇所を遠視させていただきました（ですので、イラストのみ）。見学者からは遠く離れた箇所なので安全面に問題はまったくありません。あしからず。厚く御礼申し上げます。